（別記）

令和８年度喜茂別町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は、北海道の中央南西部・後志管内の東南部に位置し、７５．５％を林野が占め耕作率は７％の山間農業地域である。

本町の農業は、基幹産業である馬鈴しょ、てん菜、小豆が畑作経営の中心となっているが、近年はトマト、メロン、花き等の高収益作物を振興し所得向上を図っている。

また、農業就業人口に占める６５歳以上の割合は年々増加し、後継者不足、担い手不足による農家戸数の減少に伴い、農地の一部遊休化が懸念されている。

問題解決に向けて、既存農家・意欲のある新規就農者への支援を進めていくとともに、農業委員会をはじめ関係機関と連携・協力し、一層の担い手への農地利用集積を図っていくことで、遊休農地の発生防止に取り組む必要がある。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本町において、水田地での収益性の高い農業経営への転換を図るため、産地交付金を活用しながら、地域の実情に応じた面積当たりの所得が高い野菜の作付けを図っているが、湿害等が発生しやすく、品質及び収量が安定していない状況となっている。

今後、農産物の計画的かつ安定的な生産・供給が可能な産地づくりを一層進め、集積性の高い水田農業経営への転換が図れるよう、排水改良等による基盤整備を継続するとともに、関係部局が連携して推進体制を構築しながら、地域に適応した品種選定・普及及び栽培技術の改善、省力・低コスト生産技術の導入などを通じて、高品質で安定した生産、収益力の向上による経営の安定化を進める。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田での高収益作物を中心とした営農体系への転換を促進するため、水田の利用状況（作付体系）を点検し、点検結果を踏まえた上で、地域におけるブロックローテーション体系の構築に向けて、担い手の意向を確認しながら検討・推進していく。

また、水田の有効利用を図るため、関係機関・団体が連携して、畑地化等に係る支援内容の情報提供や助言を行うとともに、地域計画により描かれた地域の将来像や担い手の農業経営改善計画に沿うよう、効率的な土地利用に配慮する。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

本町における出納作付は、自家用消費米の生産者が１戸０．５ha である。今後における新規の作付予定はなく、現状の作付を維持する。

（２）高収益作物（園芸作物等）

本町における野菜生産は、自然条件や地理条件に即応したブロッコリーや地元企業との契約栽培による加工用のスイートコーン、南瓜の推進を図り、農業所得の向上・農業経営の安定化を目指す。

また、栽培技術の向上と連作障害を避けるため輪作体系の確立を図り、高品質、安全性に重点を置き計画的に出荷できるよう産地化に向けた生産基盤や組織強化を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	0.5		0.5		0.5	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆						
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	0.298		0.298		0.298	
・野菜	0.298		0.298		0.298	
・花き・花木						
・果樹						
・その他の高収益作物						
その他						
・〇〇						
畑地化						

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	馬鈴薯 スイートコーン ブロッコリー	地域振興作物助成	作付面積 取組面積 収量（馬鈴薯） 収量（スイートコーン） 収量（ブロッコリー）	（令和7年度）0.298ha （令和7年度）0.298ha （令和7年度）2.9t/10a （令和7年度）0.6t/10a （令和7年度）0.5t/10a	（令和8年度）0.298ha （令和8年度）0.298ha （令和8年度）2.8t/10a （令和8年度）1.5t/10a （令和8年度）1.25t/10a

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

#REF!

協議会名：

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物助成	1	20,200	馬鈴薯、ｽｲｰﾄｺｰﾝ、ブロッコリー	対象農地において、心土破砕の実施等をする農業者に対して、助成対象作物の作付面積に応じて支援する。

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。